

## ★ 計画の進め方

- この計画をきちんと進めていくために、定期的に問題となっているところを確認したり、その確認の結果、必要があれば計画を見直すこととしています。
- また、市町村がつくっている障がい福祉計画がきちんと進んでいくように支援することとしています。

### ほっかいどう障がい福祉プランの目標

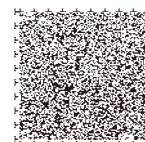
#### 1 施設に入所している人がまちで暮らしていくための目標

目標の内容	立てた目標		参考
	R8	R11	
入所の施設からまちで暮らすこととなった人の数	235人	796人	施設に入所している人の数
施設に入所している人の減少数	350人	817人	9,354人

#### 2 精神障がいのある人がまちで暮らしていくための目標

目標の内容	立てた目標	参考
心の病気で入院している人が短い間で退院できる割合		今の様子
・入院後3か月までに退院できる割合	68.9%	62.2%
・入院後6か月までに退院できる割合	84.5%	77.1%
・入院後1年までに退院できる割合	91.0%	85.2%
退院してから1年以内のまちで生活した平均の日数	330.1日以上	330.1日
心の病気で1年以上入院している人の数		
・65歳以上の人の数	5,304人	
・65歳未満の人の数	2,514人	
精神障がいのある人がまちで暮らしているよう福祉、保健所、病院などが支援について話し合う場	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域21か所</li> <li>市町村179か所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい保健福祉圏域(※1)に1か所</li> <li>各市町村に1か所</li> </ul>

※1 障がい保健福祉圏域は、市町村を21圏域に分けています。



### 3 まちでの暮らしを良くするための目標

目標の内容	立てた目標		参考
	R8	R11	
住み慣れたまちで暮らしていくために支援するしくみ（地域生活支援の拠点）	179市町村		全市町村

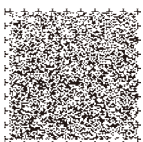
### 4 一般の会社で働いていく目標

目標の内容	立てた目標		参考	
	R8	R11		
就労系事業所での経験を生かして働く人の数	1,335人		今の様子 1,043人	
就労移行支援事業所での経験を生かして働く人の数	774人	1,014人	今の様子 591人	
就労継続支援A型事業での経験を生かして働く人の数	238人	307人	今の様子 185人	
就労継続支援B型事業での経験を生かして働く人の数	341人	437人	今の様子 267人	
就労定着支援事業	就労系事業所を経て利用する人	1,111人	1,566人	
	長く働いている人の割合が7割以上の事業所の割合	25%	25%	

※就労移行支援事業 → 会社で働くための支援をする福祉サービス

※就労継続支援A型事業 → 事業所に雇われて支援を受けながら仕事をする福祉サービス

※就労継続支援B型事業 → 事業所で負担の軽い作業をする福祉サービス。事業所には雇われません。



## 5 障がいのある子どもを支援していくための目標

目標の内容	立てた目標		参考
	R8	R11	
児童発達支援センターの数	21か所	21か所	障がい保健福祉圏域に1か所以上
保育所等訪問支援事業所の数	21か所	21か所	
重い障がいのある子どもを多く支援することができる児童発達支援事業所の数	21か所	21か所	
重い障がいのある子どもを多く支援することができる放課後等デイサービス事業所の数	21か所	21か所	

## 6 呼吸や痰を取ることに助けを必要とする子ども等を支援していくための目標

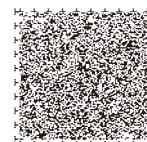
目標の内容	立てた目標		参考
	R8	R11	
住み慣れたまちで暮らしていくための支援について話しあう場	北海道	1か所	都道府県に1か所 障がい保健福祉圏域に1か所 各市町村に1か所
	圏域	21か所	
	市町村	123か所	
支援の相談にのってくれる人の配置	北海道	1か所	都道府県に1か所 各市町村に1か所
	圏域	21か所	
	市町村	125か所	

## 7 耳が聞こえにくい子どもを支援していくための目標

目標の内容	立てた目標		参考
	R8	R11	
耳が聞こえにくい子どもの支援を中心になって進める体制	北海道	1か所	都道府県に1か所

## 8 障がいのある人が相談するところを良くするための目標



相談をするところの対応が良くなるよう市町村を支援していきます。

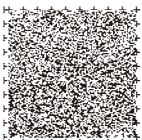


9 しょうがいふくし よ もくひょう  
**障害福祉サービスを良くするための目標**

サービス事業所がきちんと仕事をしているか確認して、その結果を市町村にお知らせします。

さんこう  
**(参考) ヘルプマーク、ヘルプカードについて**

<ヘルプマーク>	<ヘルプカード>
	
<p>ぎそく じんこうかんせつ しょう          義足や人工関節を使用してい          かる方、内部障がいや難病の方、又          には妊娠初期の方など、外見からわ          からなくても援助や配慮が必要          としていることを知らせることで、          援助を得やすくなるように、作成          したマークです。</p> <p>ヘルプマークを身につけた方を          見かけた場合は、電車・バス内で          席をゆずる、困っているようであ          れば声をかける等、思いやりのあ          る行動をお願いします。</p>	<p>しょう ひと なか          障がいのある人などの中には、          自分から「困った」をなかなか伝え          られない人がいます。支援が必要          なのに、「コミュニケーションの障          がいのためうまく伝えられない」          「困っていることを自覚していな          い」人もいます。特に、災害時に          は、困りごとが増えることが想定          されます。</p> <p>「ヘルプカード」は、そういった          障がいのある人などが困ったとき          に助けを求めるためのものです。          「手助けが必要な人」と「手助けで          できる人」を結ぶカードです。</p>



第1期ほっかいどう障がい福祉プラン  
令和6年(2024年)3月

発行 北海道

編集 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

電話 011-231-4111 内線 25-723

FAX 011-232-4068

E-mail hofuku.shohuku1@pref.hokkaido.lg.jp

